



11/29/06 @大学入試センター  
第3回職員研修セミナー

# 韓国の大学入試制度とわが国への示唆

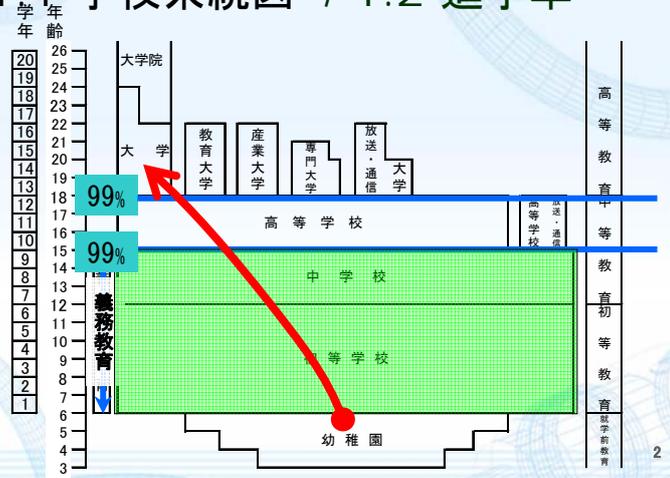
林 篤裕

独立行政法人 大学入試センター 研究開発部

e-mail: hayashi@rd.dnc.ac.jp



## 1.1 学校系統図 / 1.2 進学率



### 1.3 社会背景

- 高い進学率: 塾、予備校、家庭教師
- 厳しい学歴偏重社会・受験競争
  - 「四当五落」、「三当四落」
  - 高校での補習(早朝から夜まで)
  - 「課外」(夜以降): 禁止時期も
- 入試が国家的行事として実施されている。

※ 教育制度とは直接関係ないが、男性には20代の間に兵役に行く義務があり、修学の問題にもなっている。

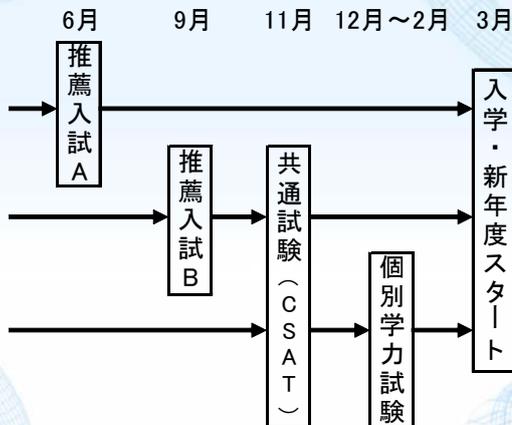
3

### [参考] 韓国の大学事情

- ◆ 大学: 386 大学(2003年時点)
  - ◆ 難関 国立: ソウル大学校
  - 私立: 高麗(Korea)大学校、延世(ヨンセイ)大学校、西河(ソガン)大学校、梨花(リカ)女子大学校
  - 工学: 韓国科学技術院(KAIST) at 大田(テジョン)、高校から特別(科学高校)コース
- ◆ ソウルに集中: 「ソウルの大学に」
- ◆ 地方大学は定員割れも
  - ◆ 教員数を減らす等の対策
- ◆ 韓国の人口: 4814万人(2005年)
  - ◆ 24%が首都ソウルに、45%が首都圏に、在住
  - ◆ 首都圏: 国土面積の12%
    - ◆ 製造業の55%、金融機関の65%、公共機関の82%、大学の42%が集中

4

### 2.1 入試の流れ



5

### 2.2.1 共通試験の概要

- 修学能力試験 (College Scholastic Ability Test, CSAT)
- 年に1回11月に1日間で実施される。追試験・再試験は実施されない。
- 受験者数: 57.4万人(2004年)、内訳 現役 41.1万人、浪人 16.3万人。7対3。
- 全大学(386大学、2003年時)で採用されている。
- 実施運営機関: 教育課程評価院(Korea Institute of Curriculum & Evaluation, KICE)

6

## [参考] CSAT の規模

- ◆ CSAT-2004 : 2003年11月6日(木)
  - ◆ 73地区 / 876会場 / 21710教室
  - ◆ 674154人 (31.1人/教室, 高校の教室を利用)
    - ◆ 母校とは異なる高校で受験
  - ◆ 実施 : 教育委員会に委託
  - ◆ 利用大学 : 386 大学(全大学が利用)
  - ◆ 競争率 : 1.2倍程度(らしい)
- ◆ 志願者数の推移 : 減少傾向
  - ◆ '98, '99年 : 89万人 (Max)
  - ◆ '01年 : 72万人
  - ◆ '04年 : 67万人
  - ◆ 少子化以外に、大学に行かない者の増加

7

## ちなみに大学入試センター試験は?

- ◆ 平成18年度 : 2006年1月21日(土)、22日(日) (本試験)
  - ◆ 721試験場 / 8740?教室
  - ◆ 志願 : 551382人 (63人程度/教室, 大学の教室を利用)
  - ◆ 実施 : 大学入試センターと利用大学が共同して
  - ◆ 利用大学 : 594大学、133短大 (定員:15万人程度)
  - ◆ 競争率 : 3.6倍程度/5.3倍(国公立) (算出方法による)
- ◆ 志願者数の推移 : 少子化で今後減少
  - ◆ '79 : 34万人 (共通一次 1回目)
  - ◆ '90 : 43万人 (センター試験 1回目)
  - ◆ '03 : 60万人
  - ◆ '04 : 59万人
  - ◆ '07 : 55万人 (前年比 +2000人)

8

表1. CSAT-2005の科目 (2004年11月実施)

試験領域	科目数	科目
言語	1	韓国語(含聞き取り問題)
数理	2	A型, B型
社会探求	11	経済, 経済地理, 国史, 法と社会, 社会文化, 世界史, 世界地理, 倫理, 政治, 韓国近・現代史, 韓国地理
科学探求	8	物理I, 物理II, 生物I, 生物II, 化学I, 化学II, 地球科学I, 地球科学II
職業探求	17	会計原理, 海洋一般, 海事一般, プログラミング, コンピューター一般, 情報技術基礎, 人間発達, 食品と栄養, 水産一般, 水産・海運情報処理, 商業経済, デザイン一般, 農業情報管理, 農業理解, 農業基礎技術, 基礎製図, 工業入門
外国語	1	英語(含聞き取り問題)
第2外国語/漢文	8	フランス語, 中国語, 日本語, アラビア語, スペイン語, ロシア語, ドイツ語, 漢文

- 7つの領域48科目。初出問題のみで構成。
- 7領域の中から進学を希望する大学に必要な科目を受験する。英語は必須領域。
- 高校のカリキュラムに副った学力試験。
- 大学教育に足る能力を受験者が有しているかを測定。

9

表2. CSAT-2005の時間割 (2004年11月実施)

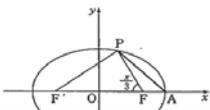
試験領域	試験時間	設問数	素点	備考
言語	8:40~10:10 (90分)	60	200	聞き取り問題 : 6問
数理	10:40~12:20 (100分)	30	200	非選択型質問項目を30%程度出題
社会探求/科学探求/職業探求	13:20~15:20 (120分) [30分/科目]	20/科目	100/科目	最大4科目を選択
外国語	15:50~17:00 (70分)	50	200	聞き取り問題 : 17問
第2外国語/漢文	17:30~18:10 (40分)	30	100	進学希望大学によっては受験の必要がある試験領域

- 1日間。5コマ。
- 第2外国語/漢文領域の受験者は全体の21%程度。これ以外の4コマ全てを受験した者は86%程度(2005年)。
- 国語(韓国語)と英語にはリスニングテスト(1994年から)。
- 試験問題は試験後に公表され、再利用されることはない。
- 回答方式はマークシート式だが、数学のごく一部に記述式がある。この記述式問題の採点は、任命された大学の教員が指定された方針にしたがって担当する。

10

## 数学の記述式問題(和訳)

18. 2つの実数  $a, b$  が  $\lim_{x \rightarrow 2} \frac{\sqrt{x^2+a}-b}{x-2} = \frac{2}{5}$  を満たす場合、 $a+b$  の値を求めよ。 [3点]
19. 連立不等式 
$$\begin{cases} \log_3 |x-3| < 4 \\ \log_2 x + \log_2(x-2) \geq 3 \end{cases}$$
 を満たす整数  $x$  の個数を求めよ。 [3点]
20. 無理方程式  $x^2 + 7x + 10 + \sqrt{x^2 + 7x + 12} = 0$  のすべての実根の積を求めよ。 [3点]
21. 中心が  $C(0, 1, 1)$  で半径の長さが  $2\sqrt{2}$  である球と直線  $\frac{x}{2} = y = -z$  が交わる2つの点を  $A, B$  とする。三角形  $CAB$  の面積を  $S$  とすると、 $S^2$  の値を求めよ。 [4点]
22. 楕円  $\frac{x^2}{36} + \frac{y^2}{20} = 1$  の2つの焦点を  $F$  と  $F'$  とし、焦点  $F$  にもっとも近い頂点を  $A$  とする。この楕円上の1つの点  $P$  に対して  $\angle PFF' = \frac{\pi}{3}$  の場合、 $PA^2$  の値を求めよ。 [4点]



## 2.2.3 試験の実施場所, 実施責任者

- 市道教育庁が定める高等学校。ひと教室当り28人程度(2005年)。
- 高校に委託して実施しているため、高等学校長が責任者となって実施する。
- 試験問題冊子の受取りや搬送、および実施後のマークシートの提出は高等学校側の負担。

12

## 2.2.4 問題作成の方針・特徴

- KICEが委託した問題作成委員(大学の教授。高校の教員も一部参加している)が作成する。
- 試験問題の最終決定までの過程で、チェック委員会のチェックを何回か受ける。
- 機密保持のため、1ヶ月程で作題から検討、印刷、実施までの工程を網羅する。

13

## 2.2.5 試験結果の開示

- 試験終了後1ヶ月程で、本人に成績を通知
- 大学は全資料をCDで受け取り、個人特定IDで検索して利用
- KICEが提供する成績：4種類
  - 素点
  - 標準化得点(いわゆる偏差値)
  - パーセンタイル
  - 9段階の成績：“Stanine” ➡ 次スライド
- 受験者は通知された成績を基に、最終的な進学希望大学・学部を決定
  - 各大学は成績の評価方法を事前に公表

14

## Stanine : "Sta"ndard "Nine"

- 平均5、標準偏差2の正規分布に当てはめたときの、区間幅 1/2 のどの区間に位置するかを示した9段階の成績
- CSAT-2002 から導入
- 第一群 上位 4%、以下順に、7%、12%、17%、20%、17%、12%、7%、4%

Stanine	9	8	7	6	5	4	3	2	1
percent	4	7	12	17	20	17	12	7	4
幅	0-4	4-11	11-23	23-40	40-60	60-77	77-89	89-96	96-100
	最下位					最上位			

15

## 2.3 個別学力試験

- 主に筆記試験以外を行っている。小論文、実技、面接等。
- 合否の評価資料としてはCSATの成績以外に、高校の調査書(内申書)が重視される。

16

## 3 最近の動向 とわが国への示唆

- 教育制度が比較的短期間に改定
  - 現在のものは第7次のカリキュラム改革に対応して実施されたもの。
  - 総合試験型(2003年まで)から科目別試験型(2004年以降)へ。
  - 高校のカリキュラム準拠へ。
- 共通試験が学力の担保に寄与：
  - 全大学で利用(私立大学も)
  - 英語(実質4コマ)が必須
  - 推薦入試にも利用

17

## 3 最近の動向とわが国への示唆

- 1コマ複数科目受験：社会探求領域(11科目)／科学探求領域(8科目)／職業探求領域(17科目)
- 進学希望学部によって選択科目が類型化：1日で実施するためにも
- 推薦入試：増加傾向。現状で4割程度。2回の内の1回はCSATを資格試験的利用。
- 申書の重視(信頼関係)。毎年を経験から大学側に蓄積ができる。
- (筆記試験は基本的に共通試験のみで実施され、個別試験は筆記試験以外を実施。)
- 追試験、再試験はない。年に1回のみ。

18